

会議の開催結果について

- 1 会議名 平成23年度 上尾市保育評価審査会
- 2 会議日時 平成24年2月27日(月) 午後1時30分から
- 3 開催場所 全員協議会室(本庁舎議会棟4階)
- 4 会議の議題

- ・審査会の開会
- ・委員、事務局の紹介

【議事】

- ① 進行管理部会の報告について
- ② 運営部会の報告について
- ③ 研修部会の報告について
- ④ 公開保育の実施状況について
- ⑤ 第三者による保育指導の実施報告について
- ⑥ 安全委員会の報告について
- ⑦ 今後の進行管理について
- ⑧ 質疑応答、ご意見等

- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 11人
- 7 問い合わせ先 健康福祉部 保育課

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 23 年度 上尾市保育評価審査会	
開 催 日 時	平成 24 年 2 月 27 日(月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 40 分	
開 催 場 所	全員協議会室 (本庁舎議会棟 4 階)	
議長(委員長・会長)氏名	金谷 京子	
出席者(委員)氏名	金谷 京子、本田 直子、田中 元三郎、桑原 明子、井上 淳子、鈴木 章子、川口 三貴子、木村 裕子、関根 桂子	
欠席者(委員)氏名	久芳 敬裕	
事務局(庶務担当)	健康福祉部 保育課	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長あいさつ (金谷会長) ・ 委員及び事務局職員紹介 ・ 審査会の開会 <p>【議事】</p> <p>①進行管理部会、運営部会、研修部会、公開保育、第三者による保育指導及び安全委員会の検討・実施結果報告</p> <p>②質疑応答、ご意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉会の挨拶 (健康福祉部次長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部会からの報告事項及び今後の進行管理については、保育評価審査会です承されました。
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 11 人
会 議 資 料	別紙のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">議長(委員長・会長)の署名 _____</p> <p style="text-align: right;">議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)</p>		

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>【資料一覧】</p> <p>平成 23 年度保育所運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行管理部会報告書 ・ 運営部会報告書 ・ 研修部会報告書 <p>公開保育実施報告書</p> <p>第三者による保育指導実施報告書</p> <p>平成 23 年度保育所安全委員会の報告について</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の紹介 ・ 事務局の紹介 <p>委員 10 名中 9 名が出席のため会議が成立 会議公開、傍聴人は 11 名</p> <p>2 金谷会長あいさつ</p> <p>3 議事</p>
事務局松原	<p>(1) 進行管理部会の報告について</p> <p>平成 23 年度保育所運営委員会進行管理部会報告書に基づき、平成 23 年度に検討してきた内容の説明を行いました。</p> <p>1 進行管理部会の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故防止行動計画進行管理表の全項目が平成 22 年度に終結したことを受け、上尾市保育所保育実施要領の改訂を行いました。また、進行管理表の項目における平成 19 年度から平成 22 年度までの取り組みについてまとめ、進行管理事業検討事項一覧表を作成しました。 <p>2 本表の取組結果のまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進行管理事業検討事項一覧表および上尾市立保育所保育実施要領（第 2 次改訂版）を作成しました。 <p>3 実施要領の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、実施要領を適宜見直していきます。
事務局前山	<p>(2) 保育運営部会の報告について</p> <p>平成 23 年度保育所運営委員会運営部会報告書に基づき、平成 23 年度に検討してきた内容の説明を行いました。</p> <p>1 運営部会の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 19 年 3 月に策定した上尾市立保育所危機対応要領及び危機対応要領資料編の全面的な見直しを行いました。また、平成 23 年度 3 月 11 日に発生した東日本大震災を期に、全保育所で検討を行い、その内容を反映させました。 <p>2 危機対応要領について</p>

事務局谷口	<ul style="list-style-type: none"> ・副所長制導入による主任保育士の職務内容の明確化を要領に反映させました。また、交通事故対応事例を追加し、他マニュアルと重複する内容の削除を行いました。 <p>3 資料編について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時児童引渡し一覧・災害時児童引渡し証を追加し、既存の様式の新様式への変更、使用していない様式の削除を行いました。 <p>4 今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機対応要領及び資料編の適宜見直しのほか、災害に対する普段からの備えなどについても検討します。 <p>(3) 研修部会の報告について</p> <p>平成 23 年度保育所運営委員会研修部会報告書に基づき、平成 23 年度に取組んだ研修内容の説明を行いました。</p> <p>1 研修部会の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年度保育所職員研修計画に基づき、研修を企画・開催しました。 <p>2 研修実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内、所長、副所長、主任保育士、看護師研修 ・視察研修（上尾市立平方幼稚園） ・年齢別研修 今年度は年齢別事例発表会を行い、2 歳児、3 歳児、4 歳児の発表を行いました。各年齢の発達にそった問題点について職員間で共有し、入所から卒園までの成長過程の見通しをもって保育していくことの必要性を確認しました。 ・職員全体研修（「保育における危機管理」～事故・災害時の子どもへの対応～ 講師：金谷 京子 氏） ・調理員研修 ・時間外パート臨時職員研修 ・職員自主学習会 <p>3 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども・子育て新システム」等、新たな保育制度の導入による保育の枠組みの変更に対応するため、更なる自己研鑽や資質及び専門性の向上が求められています。そのため、保育士等の資質向上を図る目的から、今後も引き続き保育所職員研修計画に基づき、研修内容の策定・実施・見直しを行います。
事務局横田	<p>(4) 公開保育実施報告について</p> <p>平成 23 年度保育所運営委員会研修部会公開保育実施報告をもとに、平成 23 年度の公開保育の実施状況について報告しました。</p> <p>1 公開保育について</p> <p>(1) 実施目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆さまに保育所を身近に感じていただくこと ・幼保小の連携及び相互理解のため ・職員の日々の保育を見直す機会 <p>(2) 実施日程</p> <p>8 月と 11 月の 2 回 各 4 日間</p>

	<p>(3) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、保護者・家族 ・市内幼稚園・小学校・中学校・私立保育所・家庭保育室関係者 ・NPO、主任児童委員、上尾市保育審議会委員、上尾市次世代育成支援地域協議会委員関係者 ・聖学院大学主催研修参加者（埼玉県内の保育士・幼稚園教諭） <p>2 各保育所の目標と当日の保育内容（11月）</p> <p>3 参加状況 第1回（8月）172名 第2回（11月）212名 計384名</p> <p>4 意見・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物は古いですが、施設のいたる所に危険のない工夫がされていた。 ・鉛筆やマジックの持ち方が気になり、早期に改善した方がいい。 ・大きい子どもたちの制作が季節感を取り入れた内容で、感動した。 <p>といった意見・感想をいただきました。</p> <p>(5) 第三者による保育指導について 第三者による巡回指導報告書に基づき、平成23年度の実施結果について報告しました。</p> <p>1 第三者による保育指導について 保育専門家による巡回指導を上尾、原市、原市団地、大谷、上平保育所で実施した。</p> <p>2 第三者による保育指導の実施目的</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 保育観察を通じて感想や意見交換を行う (2) ここ数年の保育行政の動向とそれを受けた現場の指導計画の考え方について学ぶ (3) 親の心理の理解及び保護者対応について学ぶ <p>3 実施施設での計画の流れ 報告内容については実施施設だけでなく、全保育所に周知し、改善を図っています。</p>
木村委員	<p>(6) 安全委員会の報告について 平成23年度保育所安全委員会の報告に基づき、平成23年度に検討した内容の説明を行いました。</p> <p>1 市立保育所での事故発生状況について</p> <p>2 活動経過 保育所安全委員会を6月、9月、1月に開催しました。内容については下記のとおりです。</p>
関根委員	<p>I 第1回会議 6月29日（水） 午後2時～5時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所安全委員会の概要を説明しました。 ・副委員長2名を選出しました。 ・各保育所より上げられた16事例のうち、2事例を検討しました。 <p>II 第2回会議 9月30日（金） 午後2時～5時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育所より上げられた16事例のうち、事務局により選出された4事例を検討しました。 <p>III 第3回会議 1月12日（木） 午後2時～5時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育所より上げられた16事例のうち、事務局により選出された

<p>事務局山本</p>	<p>3 事例を検討しました。</p> <p>(7) 今後の進行管理について これまで、事故防止行動計画をもとに作成された事故防止行動計画管理に従い、検討、改善を勧めていった結果、平成 22 年度にすべての項目について、終結させることができました。そして、今年度、終結した結果を保育実施要領と危機対応要領に組み込んだ見直し案も作成しました。 このことから、保育評価審査会の役割を達成できたということで、保育評価審査会を当面の間休止としまして、今後の進行管理につきましては、保育所運営員会の各部会を中心に行っていくことを検討しています。 保育評価審査会は、今後は適宜開催していきます。 進行管理部会：保育実施要領の実施・推進</p> <p>運営部会：危機対応要領の実施・推進 災害への備えを踏まえた危機対応要領の検討</p> <p>研修部会：保育士の資質向上のための研修の実施 公開保育の充実 発表の場を引き続き設けていく</p> <p>安全委員会：事故防止について引き続き検討していく 第三者評価：保育指導を引き続き実施</p> <p>～～質疑応答～～</p>
<p>金谷会長</p>	<p>安全委員会の報告 P. 4 7 の上平保育所運動会で発生した事故について、「意識障害 右手のけいれん」とありますが、どの程度の意識障害でしたか。</p>
<p>事務局前山</p>	<p>3 秒程度意識がなかった状態でした。検査を受け、特に異常はありませんでした。</p>
<p>金谷会長</p>	<p>同じく P. 1 2 の小敷谷保育所のげた箱が倒れた事故について、地震対策などで転倒防止のため固定してあったのではないのですか。 あったとしても、風で倒れてしまうようでは、地震に耐えられないと思います。 保育実施要領などは、上尾市のホームページでどの程度公開されているのですか。また、今回の会議内容についても公開されるのですか。</p>
<p>事務局井原</p>	<p>今現在、保育実施要領などの各要領は P D F 形式でホームページに掲載し公開しています。保育評価審査会の議事録に関しても同様に掲載しております。今回作成した新要領と、本会議の会議録につきましても、同様に掲載いたします。</p>

金谷会長	<p>わかりました。</p> <p>このことから、他の方が見て役に立つものを掲載した方がよいと思うので、その観点からも意見をいただきたいです。</p> <p>進行管理部会報告について意見はありますか。</p>
桑原委員	<p>終結とあるのは、達成しているから終結ということだと思いますが、保護者会連合会のなかで、保育所と保護者がうまく協力できていないと聞くことがあるので、実際はどうでしょうか。保護者の意識が変わってきているところもあると思います。</p>
事務局松原	<p>終結したから終わりというものではなく、継続して実施しています。</p> <p>ご意見等は、月1回の保護者会も含め、保育所に来た際に保育士に直接話していただければと思います。協働につきましては、どのような研修を実施するか保護者にアンケートをとりまして、検討していきたいと思えます。</p>
桑原委員	<p>保育所によっては、来年度保護者会を無くすという意見があり、所長も了承したといった話も聞いています。保育は保護者と保育士が協力しないと成り立たないと思っています。保護者にも保育にあまり関心がない方もいらっしゃると思いますが、保育士からも積極的に話をしてほしいです。</p>
金谷会長	<p>保護者との連携を強化してほしいという意見があったということ、留めていただきたいです。</p>
本田委員	<p>保育実施要領P17の日ごろの安全管理・危機管理について、児童確認表は保護者に記入してもらっているのですか。</p>
事務局松原	<p>朝、登所の際と、夕方のお迎えの際に保護者に記入してもらっています。</p>
本田委員	<p>登所を確認するのは保育士の役目ではないのですか。</p> <p>保護者に登所したという記録を記入してもらう形で行っているようだが、子どもの人数などを確認するのは保育士の役割だと思います。</p> <p>確認作業としては、保護者にやってもらう必要はないのではないのでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>登所時、保護者が子どもを預ける際、保育士が確認するほか、保護者に確認表に記入してもらうことで記録をとることも大切だと思います。</p> <p>降所の際も、挨拶と記入を合わせ、保護者と保育士が子どもの帰りを確認しています。</p>
本田委員	<p>保護者が確認するというと、保育所の入り口に名簿が置いてあり、保護者が子どもの名前欄にチェックを入れ、保育士は別の名簿にチェックを入れていく形式だと思ったが、実際はどのように行っているのですか。</p>
鈴木委員	<p>本田委員の話されたことと同様に実施しています。</p>

金谷会長	保護者が記入のみで、保育士に何も話さず子どもを預けていくことはありませんか。
桑原委員	あります。保護者によっては、挨拶せずそのまま預けていかれる方もいます。
金谷会長	保護者としては、書けばいいという意識の方もいるのではないのでしょうか。
桑原委員	正直な話、二度手間と覚えることがあります。 しかし、保育士もしっかりと人数を確認するよう努めている姿が見られるので、保護者側としても、記入に協力しています。
金谷会長	保育士としてはどうでしょうか。
鈴木委員	保護者の登降所の確認ができず、子どもを預けられることには不安を覚えます。 確認表の近くに保育士がいることで、挨拶や確認だけでなく子どもの体調等も聞くことができているので、実施したいとおもいます。
金谷会長	保護者だけが書いている状況になっていると思います。
本田委員	記入が漏れていることは、保育士にとって神経をつかうことです。 保護者は保育所の情報を知りたいと思っているので、確認表の文言ももっと検討していただきたいです。
金谷会長	文言については、実態に沿ったものとなるよう、検討してください。 他にはありますか。
田中委員	全体的にまとまったと思います。 公開保育などを通じて、一般の方に保育を公開し、これから子育てするという方など、一般の第三者の意見を聞いてみるとよいと思います。
金谷会長	保育実施要領P36の保育所長経験者1名を保育担当主幹として配置するとありますが、1名と決まっているのでしょうか。
事務局山本	現在1名配置しています。人数については保育実施要領には明記しないよう変更します。
金谷会長	運営部会はいかがですか。
桑原委員	3月の震災の時は連絡がとても取りづらかったので、災害時の保護者との連絡の取り方などは検討しているのでしょうか。
事務局山本	災害時にすぐお迎えに来ていただける保護者の連絡先の登録と、保育所への携帯電話の設置は、震災後すぐに対応いたしました。学校や幼稚園では

	<p>一斉メール発信等も行っており、電話不通時もメールは通じたということもありましたので、保育課としましても、保護者にも協力していただき、災害用伝言ダイヤルを中心に、今後の対応について検討してまいります。</p>
桑原委員	<p>保育所に設置したという携帯電話の番号について、保護者への周知はどのようなになっていますか。</p>
事務局山本	<p>保護者には、今のところ周知しておりません。</p>
金谷会長	<p>まとまったところで、危機対応要領に取り込めれば良いと思います。</p>
田中委員	<p>公立保育所の電話は災害時優先電話になっていますか。 優先電話に登録してあると、災害時に優先して発信できるようになっています。</p>
事務局山本	<p>登録しておりません。</p>
田中委員	<p>災害時、電話がつながりにくい状況でも、優先して通話でき、私立幼稚園はみんな登録しています。このような些細なことでも対応してもらえればずいぶん違うと思います。 電話会社に連絡して、登録しておいた方がいいと思います。</p>
金谷会長	<p>各保育所に設置するのは難しいと思うのが、衛星電話なども検討してほしいです。</p>
田中委員	<p>それぞれの保育所でホームページを開設しておいて、見ていただいたり書きこんでいただけるようにしておくと、大変便利だと思います。私の幼稚園では送迎バスの遅延についても書きこんでいて、保護者は携帯電話で確認しています。利便性があり費用もあまりかからないです。</p>
金谷会長	<p>私の大学では台風などで連絡がある際、朝6時までにはホームページに掲載しています。 運営部会について、お散歩マップやヒヤリ・ハットマップに実態にそぐわない点があるため削除したということですが、以前は例として載せていたと思います。私は講演会等で、上尾市の資料を例として挙げさせていただくこともあり、お散歩マップやヒヤリ・ハットマップを作成例として紹介しているので、何か例になるものがあるといいと思います。 研修部会について、報告書P9の平成23年度実施状況表を、P5～P7の報告内容の整合性をとり、見やすい表にしてください。 第三者評価について、報告書のまとめには実施した5施設分がまとめて書いているので、各保育所のよかった点や課題点を報告してほしいです。 また、報告書に卓越したリズム遊びは他府県にも伝えてほしいとありますが、これは「さくら さくらんぼ」だけではなく、和太鼓や手遊び、縄跳びなど報告書で指摘されているリズムについてということでしょうか。 「さくら さくらんぼ」については以前から問題があると指摘されていますので、それだけで他府県にも伝えてほしいというのは疑問があります。</p>

事務局横田	<p>報告書にある和太鼓などの一貫したリズム遊び全体を指しています。報告書の内容は総括で、別途各保育所に個別の報告書があります。毎回保育課で、第三者評価実施保育所での指摘箇所を公立保育所すべてに周知し、情報を共有しています。</p>
金谷会長	<p>その他、何か質疑などはありますか。</p>
鈴木委員	<p>今年度、部会ごとに資料を作成し、保育所に周知しましたが、その内容に実施については、保育所ごとに多少違いがあると思います。一つ一つ、項目を熟読しながら検証していくことが大切であると、進行管理部会で話し合いました。確認し合うことは大切だと思うので、公開保育を利用するなど、他の保育所がどのように実施しているか検証してみることもいいですし、保育所見学や公開保育で第三者から質問されることもよいと思います。</p> <p>また、災害に対する備えについて、公立保育所では裸足保育を実施しているので、いざという時に逃げられるように、避難靴を用意しています。私の保育所は2階建てで、2階のクラス担任は、1階に移動する際は子どもの上着と避難靴を抱えて移動し、避難滑り台の利用や、階段の安全確認などにも気を使っています。</p>
川口委員	<p>上尾保育所では、特に若い保育士に対して、動静把握とはどういうことなのか、また危機管理のシミュレーションについても実施前後に全職員で話し合いを行うなど、共通認識を高めようという点に力を入れてきました。若い保育士を育てていくのは難しいことで、今年度はその土台を作ってきましたが、私たちの思いとは違う若い人の思いに対して、どのように垣根を取り払っていくかが今後の課題だと思っています。また、すぐ隣に芝川が流れているので、大雨の際も、すぐ保育所2階の乳幼児相談センターに連絡を取り、すぐに避難できるようにするなど、災害時の対応も重点的に取り組んでいます。</p> <p>私自身の保護者に対する声のかけ方にも気を付け、保護者の思いを聞いていけるように配慮しております。</p>
木村委員	<p>私の保育所でも、地震、火災など、色々な訓練をしています。若い保育士が多いので、副所長や主任保育士は、相談に乗ったり共通認識を高めることを意識しています。</p>
関根委員	<p>今年度安全委員会で検討された内容について、保育所でどのように共通理解を深めればよいのか考え、保育所で話し合える場をもっと増やしていきたいと考えました。</p> <p>また、想定外のことが起きており、安全委員会ではその想定外も含めた避難訓練を実施してほしいと言われているので、保育所でも工夫しながら、協力して実施していきたいと思っています。</p>
金谷会長	<p>今回の事故の報告を見ていると、蹴飛ばしたとか押したといった事故が多く、どうなっているのかと思いましたが、地震の影響で室内遊びが多くなり、ストレスがたまっているのではないかとということでした。砂場あそび</p>

井上委員	<p>など、外遊びができないためにストレスがたまるということが分かっているのであれば、そのことを事故防止につなげていただきたいと思います。</p> <p>保護者代表の委員さんから、何かご意見はありますか。</p> <p>今回初めて保育評価審査会に参加して、部会に分かれて様々な検討がなされていることを知りました。事故報告の中に、私の子どもがお友達にあごを蹴られてけがをした事例がありました。外遊びが減り室内遊びだったため、子どもなりにストレスがたまっているということでしたが、1クラスあたりの子どもの人数が増え、保育士の管理が足りない面もあると思います。保育士も大変だと思いますが、保育所が安全な場所だと保護者も安心して子どもを預けられるので、保育士の増員など、検討してほしいです。また、このような会議が今後なくなるとしますと、現場の保育士間では会議が継続されると思いますが、保護者の意見がどのように反映されるのか気になります。</p>
桑原委員	<p>杉の子連同会では保育課と対談する場を毎年設けていただいておりますが、保育所長と話ができるのが全体の場合としては、保育評価審査会のような機会しかありません。保育所運営委員会などの話を聞くことができる場はありがたいですが、休会になるということで、別な機会でもいいので、保護者に報告してもらえらる機会があるといいです。保護者も変わってきていて、意思疎通の難しい保護者がいることも事実なので、コミュニケーションを持つ機会が多くあるといいと思います。</p>
本田委員	<p>安全委員会報告の中で、ゴマアレルギーの件と施錠の件は、マニュアルを作る必要はなく、しっかりと申し送りコミュニケーションしかないと思います。</p> <p>アレルギー児に対する対応も徹底されていないように思いました。アレルギーの原因を使わないなど、対応を具体的にしていかなければならないと思いました。</p> <p>また、せっかくグループ討議をしているので、「しっかり」や「さらに」といった具体性のない対応ではなく、伝えたいことや努力していることを具体的に話し合う必要があると思いました。</p> <p>11月の全体研修の後、私の保育園の新規採用職員に研修を行いました。同じ状況を見て、同じように感じ、どこをどう気づくかが重要だと思うので、そのような情報の共有は大切であると考えています。</p>
田中委員	<p>役所の仕事は、書類をきちっと作成し、実施した内容を報告してくれます。しかし、書類がしっかりしていても、現場に行ったら違っていたということが往々にしてあります。現場をだれがチェックするのかを頭に入れて、今後とも進めていただきたいと思います。</p>
金谷会長	<p>今後、保育評価審査会が休会になった後、公開保育が実施される際は、保育評価審査会委員に案内通知を出してくださるよう、お願いします。</p> <p>また、各研修等にもオブザーバーとしてなど、声をかけていただきたいと思います。第三者が保育の現場を見て、保育士が第三者とコミュニケーション</p>

	<p>ョンをとることで、保育の改善の方向性を検討していただきたいと思います。保護者については、公開保育だけでなく、他にも保護者との連携をとれるように考えていただきたいです。</p> <p>保育評価審査会の休会については、今後は適宜開催するとのことですが、いかがでしょうか。</p> <p>保護者としては、対市交渉などがありますが、保育全体に対して意見を言いつらくなりませんか。</p>
事務局山本	<p>対市交渉では保育所施設に対する内容が多いので、対市交渉について見直し、保育内容について話していけるよう検討します。</p>
桑原委員	<p>対市交渉では、保護者は自分の子どもが通う保育所の施設整備についての話で終わってしまうので、今後は変えていくように調整していきたいです。</p>
金谷会長	<p>対市交渉は今後改善していくということなので、平成 24 年度に関しては、保育評価審査会は休会ということによろしいでしょうか。</p>
金谷会長	<p>会長総括</p> <p>全体研修のアンケートに、上尾の保育のよくなった点について教えてほしいというものがありませんでした。</p> <p>確かに、保育士が皆さん気を付けるようになりまし、マニュアルは非常に整ったものできたと思います。あとは、シミュレーションをきちんとやってみるかどうかで、その点は徹底していかなければならないと思います。</p> <p>マニュアルに関して言えば、他市に紹介できるほどで、私も講演会で上尾市の保育を宣伝しております。このマニュアルをきちんと実践できるかどうか、今後の保育所の課題であると思います。</p> <p>現在、他市の救急医療について調べています。その市の拠点病院ではマニュアルを作り、シミュレーションの訓練を行っていましたが、そこに 3 月 11 日の大震災がありました。その際、訓練を行っていたところと未実施だったところでは大きな差が生じました。実施していたところでは、職員が冷静に対応できたということで、訓練の重要性を確認しました。</p> <p>保育所の研修につきまして、研修に対する意識として、保育士自身が自己研鑽できるような環境が必要だと思っていました。保育士が自発的に研修したいと思ったり、発表の場を設けたいと思わないと、なかなか結びつかないと思います。保育士が研修しやすい環境を整えることも合わせて、今後の課題にしていきたいと思います。</p>

承認事項

以下の事項が承認されました

- ・平成 24 年度以降の上尾市保育評価審査会の休会について
- ・上尾市保育所保育実施要領の第 2 次改訂について
- ・上尾市保育所危機対応要領および資料編の改訂について
- ・上尾市立保育所職員研修計画の平成 24 年度版について

～～～閉 会～～～

健康福祉部次長あいさつ